

また、国の施設・設備整備基準にそった施設の拡充及び近代的設備の導入を図り、施設・設備の整備充実に努める必要がある。

2. 施策の基本方向

施設・設備

給食施設の構造別比率は、共同調理場を除き、木造比率が最も高いが、最近の国庫補助による給食施設の新設及び更新の状況を踏まえれば、木造比率は、今後、低くなるものと想定される。

また、共同調理場方式は、毎年増加しているものの、配送時間、献立等に、単独調理場方式では、みられない問題がある。

従って、木造の多い小・中・夜間定時制高等学校の給食施設の耐火構造化を早急に図るよう努めるとともに、調理場を単独校方式にするか、共同調理場方式にするかは、それぞれの長所短所を検討して、実情に応じ決定するようにする。

第4節 社会体育

第1項 スポーツ団体及び組織

1. 現状と課題

(1) 県におけるスポーツ団体及び組織

県における体育、スポーツ、レクリエーション関係団体は、アマチュアスポーツの統一組織として、財団法人福島県体育協会（昭47. 法人）があり、表4-4-2のとおり、35の種目別競技団体が加盟している。このほかにも、スポーツ少年団本部、高等学校体育連盟、中学校体育連盟及び90市町村の体育協会が加盟している。（財）福島県体育協会以外の体育・スポーツ関係団体として、表4-4-1のとおり全県的な団体が結成されている。これらの諸団体は、各種の県大会の開催、競技力向上、指導者養成等に努め、本県スポーツ振興に寄与している。（財）福島県体育協会に加盟している種目別競技団体の登録会員数は61,714人となり、この団体が中心となって福島県総合体育大会を開催している。第1回大会以来の参加人員は、表4-4-3のとおり、逐年増加し、昭和43年度には、更に、普及的な種目である家庭バレーボール、壮年ソフトボールが加えられたため、参加人員が一段と増加し、県民スポーツの祭典として本県体育・スポーツの普及、振興に大きな役割を果たしてきている。県総合体育大会は、前述のような役割を果たしてきた反面、参加人員の増加、大会内容の多様化等の

表4-4-1 本県における体育・スポーツ関係団体

団 体 名
財 福 島 県 体 育 協 会
ス ポ ー ツ 少 年 団 福 島 県 本 部
福 島 県 市 町 村 体 育 指 導 委 員 連 絡 協 議 会
福 島 県 レ ク リ エ ー シ ョ ン 協 会
福 島 県 フ ォ ー ク ダ ン ス 連 絡 協 議 会
福 島 県 オ リ エ ン テ ー リ ン グ 委 員 会
福 島 県 サ イ ク リ ン グ 協 会
福 島 県 ユ ー ス ホ ス テ ル 協 会
ス ポ ー ツ 安 全 協 会
福 島 県 高 等 学 校 体 育 連 盟
福 島 県 中 学 校 体 育 連 盟

注：「保健体育課調査」(昭51)による。